（様式第1号）

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票（評価対象年度：令和7年度）

施　設　の　名　称	宮城県総合運動公園（土木部が所管する緑地部分）
指 定 管 理 者 の 名 称	株式会社東北ダイケン
施 設 所 管 部 課 （ 室 ）	土木部都市環境課

1．当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期　　間	管理形態	指定管理者（管理受託者）の名称	摘 要
平成27年 4月 ～ 令和 2年 3月	指定管理者	東洋緑化株式会社	
令和 2年 4月 ～ 令和 7年 3月	指定管理者	東洋緑化株式会社	
令和 7年 4月 ～ 令和12年 3月	指定管理者	株式会社東北ダイケン	

※ 管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入

2．現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	株式会社東北ダイケン
	所在地	仙台市青葉区一番町3丁目6―1 一番町平和ビル
指　定　期　間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和12年 3月31日 （5か年）	
募　集　方　法	■ 公募 □ 非公募	

3．施設の概要【施設所管課記入】

施　設　の　名　称	宮城県総合運動公園（土木部が所管する緑地部分 ）	
所　在　地	宮城県宮城郡利府町菅谷及び沢乙地内	
設　置　年　月	平成7年11月	
根　拠　条　例　等	県立都市公園条例	
設　置　目　的	貴重な緑の宝庫である「県民の森」に隣接する地域特性を活かしながら、地形、川、池などの自然要素を取り込んだ水と豊かな公園緑地とし、幼児から高齢者まで誰もが自由に楽しめるレクレーションの場を提供するもの。	
施　設　の　内　容	敷　地　面　積	約462，000㎡
	構　　造	都市公園（広域公園）
	内　　容	広場・遊具・四阿・つり橋・園路
開　館　（　所　）　日	通年	
開　館　（　所　）　時　間		
指 定 管 理 者 が 行 う 業　務　の　範　囲	（1）公園全体の管理運営業務（管理運営にかかる総務事務等） （2）行為の許可申請の受付及び許可並びに利用料金の徴収業務 （3）利用管理業務（公園利用にかかる各種サービス業務等） （4）公園全体の維持管理業務（遊具などの点検や除草等）	
利　用　料　金　制	採 用 の 有 無	■ 有 □ 無
	利 用 料 金 の 名 称	行為許可利用料

4. 施設利用実績【施設所管課記入（太枠内は指定管理者記入）】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項　　目	事業計画	実　績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度（令和7年度） (A)	前 年 度（令和6年度） (B)	評価対象年度（令和7年度） (C)		
開館(所)日数	359 日	365 日	365 日	101.7%	100.0%
延べ利用者数	120,000 人	136,448 人	172,637 人	143.9%	126.5%

※ 対象施設が複数ある場合は施設ごとに記入

(2) 延べ利用者数の内訳

項　　目	事業計画	実　績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度（令和7年度） (A)	前 年 度（令和6年度） (B)	評価対象年度（令和7年度） (C)		
一般来園	120,000 人	136,448 人	172,637 人	143.9%	126.5%
合　　計	120,000 人	136,448 人	172,637 人	143.9%	126.5%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入（太枠内は指定管理者記入）】

(1) 収入

（単位：千円、％）

項　　目	事業計画	実　績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度（令和7年度） (A)	前 年 度（令和6年度） (B)	評価対象年度（令和7年度） (C)		
県指定管理料	30,000	28,320	30,000	100.0%	105.9%
利用料金収入	10	10	7	70.0%	70.0%
その他	0	0	0	-	-
収 入 計 (a)	30,010	28,330	30,007	100.0%	105.9%

(2) 支出

人件費	16,360	16,326	16,094	98.4%	98.6%
施設管理費	14,750	8,096	18,272	123.9%	225.7%
事業運営費	0	0	0	-	-
その他	0	0	0	-	-
支 出 計 (b)	31,110	24,422	34,366	110.5%	140.7%

(3) 収支

収　支 (c)=(a)-(b)	-1,100	3,908	-4,359	396.3%	-111.5%
前期繰越収支差額	0			-	-
次期繰越収支差額	0			-	-

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲

自主事業収入	1,100	1,060	1,150	104.5%	108.5%
自主事業支出	0	136	0	-	0.0%
収　支 (c)=(a)-(b)	1,100	924	1,150	104.5%	124.5%

6. 評価対象年度（令和7年度）の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

主な視点	項　目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	評価	県の評価 【施設所管課記入】	評価
経済性	施設・設備の維持管理業務の実施	・遊具点検など施設点検を計画通り実施し、点検時の不具合箇所については、早急に修繕対応するなど施設の安全対応に努めた。 ・緑地管理の施工数量についても仕様以上の施工を実施した。 ・管理作業は利用者や作業者の安全を第一に、注意喚起等のため、のぼりを立てて実施した。 ・法面草刈り作業が多く、作業工程、作業機械を検討しながら適切に作業を実施できた。	・事業計画書以上に実施した。 ・遊具については老朽化が激しい遊具もありましたが予防保全に努め、事故防止に繋げた。	A	事業計画に沿って適切な点検・清掃等の維持管理業務が行われ、公園の効用・美観が維持されているものと認められる。 また、緑地管理については、仕様以上の施工を実施し、良好な緑地管理を行ったものと評価できる。	A
	収支実績	上記「5. 管理運営収支実績」のとおり	・利用者数が前年比126%の結果となった。	A	消耗品費、燃料費、修繕費等の需用費や、光熱水費の増加に伴い、支出額が大幅に増えた。遊具の修繕や緑地管理など、指定管理者で積極的に運営管理を行ったことは評価できる。 今後は、利用者サービス向上によって公園の利用促進を図るなど、収支実績の改善に努められたい。	B
効率性	管理運営体制	・現地責任者1名、施設管理員5名配置、アルバイト2名、本社担当デスク1名、統括責任者1名体制で実施。 ・また毎月、担当デスクが巡回時にスタッフ教育及び作業進捗状況の確認を実施（作業計画、作業内容の安全確認、事故事例に伴う安全対策、個人情報管理、ドッグラン受付対応指導等）	・事業計画書以上に実施した。 ・緑地管理等に支障をきたすことなく管理運営を遂行できた。	A	毎月の巡回教育や進捗の確認について、継続して実施されており、円滑な管理運営が行われていることは評価できる。	A
	人員体制	正規　8人　　非正規　0人				
	運営業務（ソフト事業等）の実施	・パンフレットを作成して配備し公園の広報活動を実施した。 ・管理運営日誌を毎日、詳細に記載し、本社へ送信報告した。 ・年末年始休園日や公園情報を適宜、HPや掲示板にて案内した。 ・ふれあいサポーター参加の団体様には年間計画表を作成していただき事前打ち合わせ後サポーター活動を実施してもらった。	事業計画通りに実施できた。 ふれあいサポーターの方々の清掃応援もあり、公園内の美化活動は予定以上に実施できた。	A	概ね事業計画に沿った適切な運営が行われたものと認められる。 ホームページの定期的な更新やパンフレットの配布など積極的な広報活動等を行い、公園の利用促進に努めていたことは評価できる。	A
有効性	利用実績	上記「4. 施設利用実績」のとおり	・利用者数が前年比126%の結果となった。	A	施設の老朽化が進んでおり、修繕費がかさんでいるが、指定管理者で積極的に対応いただいた。 また、利用者数が前年比126%となったことは評価できる。	A
	利用者サービスの向上	・ホームページを定期的に更新して公園情報を発信、利用者の利用頻度が向上した。 ・キッチンカーは利用者にも常連さんができるぐらい定着しており、サービス向上に寄与しております。 ・管理面積が広く植栽管理に苦労したが利用者に感謝された。 ・いのししによる芝生被害が激しく利用者から早めの整地依頼がありましたが日々、迅速な整地作業を行いました。	・事業計画書通りに実施できた。 ・特にキッチンカーを増設して一般利用者からも好評でした。来期も継続していく予定です。	A	本年度もイノシシ被害が報告されたが、都度整地を行い、利用者の不利益とならないよう努めたことは評価できる。 ドッグランについても、無料での利用を継続し、利用者から喜ばれていることは、評価できる。	A
	利用者の苦情、要望等の把握とその反映	・アンケート要望及び苦情については、ペットの芝生糞被害が多く飼い主への注意喚起を行いました。第一駐車場のトイレ棟の老朽化、洋式便座に交換、和式廃止なども多くありスポーツ協会様と情報共有しております。	・事業計画書通りに実施できた。	A	アンケートを一定数収集し、その結果把握したペットによる芝生糞被害を呼びかけを行い改善に努めていることは評価できる。 また、トイレ改修に関する要望について、スタジアム等の施設を管理するスポーツ協会との情報共有も行っていることは、評価できる。	A

その他	県民の平等利用	・公園利用及びドッグラン利用について平等利用に配慮した管理を行った。	公平、平等な利用の確保に努めた結果、苦情等は発生しなかった。	A	適切に実施されたものと評価できる。	A
	安全対策	・施設の巡回点検を毎日2回行い、特に遊具においては、日常点検講習受講者による定期遊具点検（月2回）及び法定遊具点検（年2回） を行い安全管理を徹底した。 ・地震計器のアースカバー破損、駐車中の車ガラス破損があった。事故後は作業の見直し、防護ネット使用を徹底し事故防止に努めた。 ・芝生管理作業は、2人1組での作業徹底、利用者への安全エリアを確保、飛び石防護ネット活用、プロテクター着用にて労働災害防止に努めた。	・事故が2件発生した。 日々のKY活動を継続、事故防止に努めた。	B	令和7年度は複数の事故が発生した。 ベンチの不具合による来園者負傷事故については、巡視する際の注意ポイントとして目視を行うなどにより、改善を期待したい。 草刈り機による石はね事案については、手順書の見直し等により改善を図ることとしているが、作業従事者が注意すべきポイントなどをわかりやすくするなど、改善を図るべき余地が他にもあると考えられる。再発防止策を徹底していただくとともに、今後の取組に期待したい。	B

主な視点	項　　目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】	評価	県の評価 【施設所管課記入】	評価
その他	個人情報の保護	・個人情報保護基準に則り、個人情報の取り扱いを行った。	・個人情報の漏洩は発生しなかった。	A	指定管理者が定めた個人情報保護規程に基づいた適切な情報管理が行われたと認められる。	A
	自主事業の実施	・週末キッチンカーは予定通り、毎週、土日祝日に出店できました。コーヒー、から揚げ、ベビーカステラなどリピーターが多く来園者から大変喜ばれました。 ・海外スポーツ　ペタンク＆モルック無料貸出 ・ドッグラン開催 （フェスタ開催はイベント業者と協議しましたが参加チームがなく中止、クリスマスリース作り体験会は開催場所が確定できず中止、県民の森イベント協賛は県民の森所長と協議したが協賛できるイベントはなく中止）	次年度は開催できる自主事業を計画する	B	利用者のニーズに合わせ、キッチンカーの増設を行った点については評価できる。 ただし、計画されていた複数の事業が中止となっているため、今後とも既存の自主事業に関わらず積極的な取り組みを期待したい。	B
	その他の取組	・環境配慮の取り組み ・各公園所長6人が集合して定例所長会議を開催した。（各公園で開催） 年4回実施、各公園の課題など情報共有、運営向上及び利用者サービスに努めた。	・事務所内の冷暖房温度や照明の適正管理を実施した。	A	本年度も定例所長会議を継続して定期的に開催しているが、適正な公園の管理運営につながる取り組みとして評価できる。	A
総合評価			当公園の管理運営1年目ですが公園の指定管理を通算で14年間、取り組んできた経験を生かして常に改善していく意識を持ち取り組んできました。 年間を通して利用者満足度向上に貢献できた。特に法面の芝生管理ではラジコン草刈り機を駆使し草刈り転倒事故防止に努め各エリアの繁殖状況に合わせた草刈り作業を実施できた。	A	事業計画書に基づき、概ね適切な公園管理が行なわれたものと評価できる。 ただし、本年度は2件の事故が報告されており、改善策の徹底が求められる。 長年の経験を生かし、引き続き公園のさらなる魅力向上及び利用促進に努めていただきたい。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準（目安）】

評　価	評　価　の　考　え　方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫･改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準（目安）】

評　価	評　価　の　考　え　方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫･改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者･施設所管課記入】

項　　目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	公園面積が広く、計画的な草刈り作業が必須であり各エリアの状況把握、各機械の適正な導入及び他公園からの応援体制構築し適切な緑地管理に努めます。また、安全管理も最重要課題とし日々の作業を実施します。	除草作業中に、物損事故が2件発生した。再発防止策を講じ、今後は事故が発生しないよう、より一層の安全対策に努めていただきたい。 スタジアム等の施設を管理する県スポーツ協会などの関係機関とも連携しながら、引き続き適正な管理運営を行っていただきたい。